

# エンゼル幼稚園のインクルージョンポリシー (包括的な教育に関する方針)

## Mission

「子ども達のチャレンジ精神や思いやりの気持ち、  
他の人との協力性を育みます。」

## Vision

「生き物を思いやり、知識ある真の国際人  
を生涯に渡って育てられるコミュニティー  
を創って行きます。」

エンゼル幼稚園では、コミュニティーを向上させる上で、インクルージョン（包括的な教育）が重要であると考えています。多様性は自然に存在するからこそ、私たちは計画や学習を児童やスタッフ、関係者のニーズに適応させるよう努めています。このインクルージョンポリシー（包括的な教育に関する方針）は、思いやりのある人、心を開く人の育成に向けてコミュニティーをサポートします。

日本の文部科学省（MEXT）は、幼稚園の学習指導要領第2章の第5でこのように述べています。“障害のある幼児などへの指導に当たっては、集団の中で生活することを通して全体的な発達を促していくことに配慮し、特別支援学校などの助言又は援助を活用しつつ、個々の幼児の障害の状態などに応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うものとする。また、家庭、地域及び医療や福祉、保健等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で幼児への教育的支援を行うために、個別の教育支援計画を作成し活用することに努めるとともに、個々の幼児の実態を的確に把握し、個別の指導計画を作成し活用することに努めるものとする。”

さらに国際バカロレアは、「すべての児童の先生として、児童一人ひとりが個々の学習者として教えを享受し学習できるようにすることは全教員の責任である」<sup>1</sup>と述べています。

エンゼル幼稚園に入園を希望する児童は、関係者の面接を受けます。面接は園の教師が行います。これは、どのような児童であるか、またそのニーズとその子が入園した際にどのようなサポートができるかを確認するためです。その後、先生は児童のニーズを知り、コミュニケーション方法を適応させるよう努めます。特別なニーズのある児童について全教員に周知するために、午前と午後の教員会議で児童に関して毎日伝達を行います。各クラスに2人の先生が割り当てられており、児童のニーズに応えることができます。

幼稚園には、特別なニーズを持つ児童向けの指導計画があります。その計画は、副園長、教員、および一般財団法人特別支援教育士資格認定協会（SENS）によって認定されたカウンセラーと協力して、担任の先生が作成します。カウンセラーは、週に1回訪問し、日本人スタッ

---

<sup>1</sup> Learning diversity and inclusion in IB programmes, p.4

フを観察し、助言します。日本人の先生向けのワークショップも定期的に行われています。先生は、各児童がより理解しやすいように、指導計画や授業環境を改善するよう努めます。協働ミーティングにより、教員同士が互いにサポートし改善する場を提供するとともに、教育的リーダーシップチーム（PLT）からサポートを受けます。より良い包括的なコミュニティを作るには、特別なニーズを持つ児童をサポートするための継続的なスタッフ開発が必要不可欠です。

ランゲージポリシーで述べられているように、私たちは言語を自分の考えや感情を伝えるためのツールと考えていますが、話すことを制限するものではありません。これにより、話すことに慣れていなかったり、異なる文化圏から来た児童が他の方法で自分自身を表現することができ、コミュニティでの多様性に、より対処できるようになります。

エンゼル幼稚園は、心を開くこと、思いやり、協力することを私たちコミュニティの重要な要素と考えています。そのため、児童には、地位や性別、年齢を超えて互いに交流することを勧めています。

これがエンゼル幼稚園のインクルージョンポリシー（包括的教育に関する方針）です。